

拠点名称：地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成拠点

代表機関	北海道大学	プロジェクトリーダー	石井 一英 北海道大学 大学院工学研究院 教授 /ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点 代表
参画機関	(大学等) 鹿児島大学、佐賀大学、物質・材料研究機構、北海道立総合研究機構 (企業等) 北海道、釧路市、函館市、薩摩川内市、佐賀市、鹿追町、古河電気工業株式会社、株式会社クボタ、株式会社IHI、株式会社NTTDコモ北海道支社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、大成建設株式会社札幌支店、いであ株式会社、北海道電力株式会社、岩田地崎建設株式会社、株式会社ドーコン、株式会社土谷特殊農機具製作所、大地みらい信用金庫、共和コンクリート工業株式会社、太陽鋳工株式会社、株式会社岡野エレクトロニクス、北海道経済連合会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構、釧路商工会議所、美唄自然エネルギー研究会、事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会、一般社団法人専修大学デジタルコミュニティ通貨コンソーシアムラボラトリー、一般社団法人さが藻類バイオマス協議会、株式会社アバンアソシエイツ、株式会社プレイド、QUALITY HOKKAIDO一般社団法人		

○プロジェクトの概要

人口増や気候変動、コロナによる世界的な社会問題が顕在化するなか、SDGsやパリ協定等の目標達成のため、地域資源をエネルギーとして最大限活用し、環境負荷を軽減した食料生産システムを確立するとともに、これらの取組をICT等の活用により見える化し新たな地域の価値創出につなげることにより、地産地消で自立的な分散型社会の構築が求められている。

このため、本提案では、「**地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成**」をビジョンに掲げ、日本の再生可能エネルギーと食料供給基地である北海道を主な舞台に世界を見据え、大学や企業、自治体等の技術・人材を結集し課題解決（課題再構築を含む）と持続運営のための大学の自立化を推進する。

○ビジョンを達成するためのターゲット

- ターゲット①：地域資源を簡易に貯蔵・輸送可能なエネルギーに変換する技術の確立
- ターゲット②：地域エネルギー利用型食料生産技術の確立
- ターゲット③：地域の新たな価値を創出する情報基盤の確立

